

会 議 録

会議の名称	平成30年度 第5回西東京市スポーツ推進審議会
開催日時	平成31年3月13日（水）18時00分から19時15分まで
開催場所	保谷庁舎1階会議室
出席者	(委員) 北岡会長、吉田委員、飯塚委員、姉松委員、村上委員、早川委員、林委員、山縣委員、川村委員 (欠席：岡田委員) (事務局) 宮坂課長、工藤課長補佐、本谷主任
議題	1 J S Nオランダ連携プロジェクトについて 2 ホストタウン事業について 3 スポーツ施設のあり方について
会議資料の名称	【当日配付資料】 資料1 オランダ連携プロジェクト平成30年度実績報告 資料2 オランダとのホストタウン交流事業平成30年度実績報告 【事前送付資料】 平成30年度第4回西東京市スポーツ推進審議会会議録（案）
記録方法	☐ 全文記録 ☐ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☒ 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
1 開会 ○会長 ただいまより、平成30年度第5回スポーツ推進審議会を開会する。 本日は、岡田委員より欠席の報告を受けている。 ○スポーツ振興課長 平成31年第1回市議会定例会において、来年度予算を審議されているところである。 スポーツ振興課では、スポーツを通して市民の皆様の健康増進や共生社会を促進していくために必要な予算を計上している。 本日は、スポーツ施設のあり方について、これまでの骨子案から本編をお示しするので、ご質問等をいただきたい。 ○事務局 配付資料の確認 2 議題 (1) J S Nオランダ連携プロジェクトについて	

○会長

事務局から説明をお願いする。

○事務局

資料1「オランダ連携プロジェクト平成30年度実績報告」により説明

○会長

委員から意見・質問等あるか。

○委員

2月5日の「来日プログラム」では、本校児童に学習機会をいただいた。パラアスリートが迫力のあるデモンストレーションを目の前で行い、車いすがぶつかり合う音などは子供たちの印象に残った。また、パラアスリートの二人が前向きな姿勢であることも勉強になった。

丸山市長に視察にお越しいただき、全市的な取組であったと感じる。この活動が点に終わらず、線につなげていかなければならないと感じる。学校教育は子供だけではないので、学校だよりやホームページなどを通して理解を図っていききたい。また、オランダの応援にもつなげ、友達の国という意識が持てるように学習を深めたい。

○委員

2月5日午後の会場となったにしはらスポーツクラブ体育館は大変寒かったが、熱気があり、盛り上がっていた。障害のある青年と卓球をしたが、笑顔でいると気軽にどこにでも入ってきてくれると感じた。

また、2月から3月にかけて行われた「スポーツサポーター育成セミナー」にも参加した。これまでは、サポーターやボランティアは「貢献する」「お手伝いする」というイメージが強かったが、セミナーと来日プログラムを通して、「一緒に楽しむ」ということがわかった。

○委員

「来日プログラム」で視覚障害者の役をしているオランダ人のスポーツのサポートを体験したが、コミュニケーションが難しかった。サポートする際の接し方にも慣れていく必要があると感じた。

○委員

「来日プログラム」の受け入れに関しては、もう少し早く準備する必要があると思う。パラアスリートのデモンストレーションには、参加者全員が感心しており、良い体験をさせていただいた。

○委員

「スポーツサポーター育成セミナー」に参加した。このようなセミナーへの参加は初めてであり、勉強になった。参加者は、市の関係者が多い印象があった。良い講義であったので、さらに幅広く広報し、若い人にも参加してほしい。

○事務局

スポーツ振興事業に参加していただかなければ、良い取組も広がらないと感じている。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、市民の方々の興味関心も高まっているので、事業の参加につなげていきたい。

事業の広報は、市報、ホームページ、フェイスブックで広く情報発信しているほか、体

育協会を通じた情報提供や、小・中学校、高校、大学等へ直接案内を行っている。さらには、参加者が友達や家族を連れてくるなど、興味のある人が声をかけて周知していきたい。また、委員の皆様から周知方法にご提案があればいただきたい。

○会長

学校関係の集団の中で、取組ができると高い効果が得られるのではないかと。

(2) ホストタウン事業について

○会長

事務局から説明をお願いします。

○事務局

資料 2 「オランダとのホストタウン交流事業平成 30 年度実績報告」により説明

○会長

委員から質問・意見等あるか。

○委員

市内にはオランダ人は何名住んでいるのか。

○事務局

2 名程度と承知している。今後、何らかの形で連携が取れれば良い。

○委員

オランダ連携プロジェクトに参加している他自治体などには負けないようなアピールが必要ではないか。はなバスにミッフィーをラッピングしたり、西武鉄道の 999 のように写真の撮りに行きたくなるようなラッピングなど、CM となるものや西東京市がおもしろいことをやっていると思われるようなことが必要ではないか。

ステッカーを貼ったり、こもれびホールのレストランにオランダ料理を入れたり、西東京市がオランダのホストタウンで良かったと思われるようなことを考えてはいかかがか。

○委員

他市のホストタウンの登録状況はどうであるか。

○事務局

都内 26 市では、本市を含めて 10 市がホストタウンとして登録されている。

○委員

民間施設を使った合宿やホームステイの受け入れ相談をしている地域もあると聞くが、西東京市には受け入れられる民間施設がないと思う。常に競技の練習ができる場所や、何か拠点となることがないとホストタウンといってもピンとこない市民が多いのではないかと。

○事務局

来年度予算ではホストタウン関連事業に 200 万円を計上している。ホストタウンの取組を充実させていく。

○委員

様々な周知を行っていると思うが、スポーツ施設に掲示するのはいかがか。素通りしても目に止まるくらいのオランダ関連コーナーが必要だと思う。イメージが湧きやすくなると思う。

○委員

指定管理者は様々なサービス向上に努めているので、オランダホストタウン関係も一般の市民に広げられたら良いと思う。

○事務局

広報西東京 2 月 15 日号の 1 面に掲載されたことにより、市民からもホストタウンに関わりたいという反応や問合せが多数寄せられた。取組のアイディアを全庁的に募集したので、オランダとのホストタウンを知らない市民の方々にも広めていきたい。

また、今後田無駅と保谷駅のペデストリアンデッキに横断幕を掲出する予定である。

オランダやホストタウンに関するイベントだけでなく、常設展示なども作っていければ良いと思う。

○委員

そもそもオランダとなぜホストタウンになったのか。

○事務局

本市では、「ENJOYニュースポーツ」という障害の有無にかかわらず誰もが楽しめるスポーツ事業を毎月 1 回開催し、パラスポーツを推進していた。そこに、オランダから社会課題解決を支援するプロジェクトの募集があり、パラスポーツを通じて共生社会の実現を目指すためのオランダ連携プロジェクトが始まった。その交流を契機にさらに交流を深め、プロジェクトの充実を図るため、オランダとのホストタウンに申請した。

(2) スポーツ施設のあり方について

○会長

事務局から説明をお願いします。

○事務局

これまで示した骨子案を本編として取りまとめたので、報告させていただく。

○会長

委員から質問・意見等あるか。

○委員

東町テニスコートの閉鎖について数か所に記載されているが、影響はどの程度であったのか。

○事務局

東町テニスコート閉鎖により、ひばりアムテニスコートの申込が増えたため、利用しにくくなったとの声が市や指定管理者に寄せられている。閉鎖前と閉鎖後の同時期を比較した場合、利用率が約 5 % 程度上昇している。

○委員

民間等のスポーツ施設について提示されているが、会員制ではないのか。

○事務局

会員制が多いと思われる。民間等スポーツ施設の方が利用料金がやや高い。

○委員

屋外施設の利用率が低い施設があるが、理由はあるのか。

○事務局

利用率は施設の時間や料金による。また、屋外施設は天候の影響を受けるため、昨年度は台風や大雪のために利用ができない期間が長かったことが要因である。

○委員

近隣市の相互利用について、各施設の利用料金は異なるのか。また、相互利用の広報はどのようにされているのか。

○事務局

自治体により、申込時期が当該市の市民より、他市の市民の方が遅く設定されていたり、料金が2倍等になっている。相互利用の広報については、ちらしを窓口やスポーツ施設にて配布している。また、新座市のテニスコート利用については、広報西東京に年に1回掲載している。

○委員

芝久保運動場は、利用種目の制限もあり、少年野球の利用が多いと思うが、駐車場スペースがあるので駐車場を利用できるようにしていただけないか。

少年野球の道具を持って行ったり、以前は利用できていた。利用中止になった理由がわからないが、利便性が向上すると思うので検討していただきたい。

○事務局

芝久保運動場は、東京都の借地であり、近隣住民も近いので確認する。

○委員

ひばりアムの利用率が70%であるが、野球場、多目的グラウンド、テニスコートの内訳がわかるか。向台運動場同様に野球場の利用率が低いのではないかと思う。

○事務局

平成29年度実績で、野球場49.5%、多目的グラウンド53.5%、テニスコート79.3%である。

○会長

市内のテニスコート数は平均的に少ない方であるか。

○事務局

近隣自治体と比較すると少ない方ではない。東町テニスコートが閉鎖される際に近隣自治体の平均値と比較した際は平均であり、閉鎖されたことにより平均を下回った。

○委員

平均値の比較は、人口当たりで算出したのか。

○事務局

人口当たりのテニスコート数の判断基準がないため、人口当たりでは算出していない。

○会長

施設のあり方は課題が多いが、予算にも限りがあると思う。

○事務局

借地については、返還が発生する可能性もあるので、事前に返還時の対応について検討する。

○委員

今後、ひばりが丘中学校の土地が空くと思う。泉小学校があのようになってしまうので、スポーツ利用を考えていただきたい。

○事務局

教育委員会や公共施設の跡地活用の中で検討されていくと思う。テニスコートは、音が発生するので近隣住民の理解を得ていく必要がある。

○会長

様々なご意見が出たので、今後検討していただきたい。

(3) その他

○会長

事務局から説明をお願いします。

○事務局

平成 31 年度予算に、オリンピック・パラリンピック関係予算を計上しているが、スポーツ振興課以外にも庁内各部署から事業が挙げられた。各事業について、東京都の補助金等を活用するが、スポーツ振興基金を取り崩すことを予定しているので、報告する。

なお、スポーツ振興基金は「西東京市スポーツ基金条例」に基づき、市民のスポーツ活動を援助し、市民のスポーツの振興を図るために設置されている。

○事務局

平成 30 年度第 4 回会議録について、ご承認をいただきたい。

○委員

一同了承

○会長

以上で本日の審議会は、閉会とする。